KYOTO PHILOSOPHY OPEN MIND
株式会社　空間創研
Kukan-Soken Co.,Ltd.

技術事例

チェルシーフラワーショー2001　出展日本庭園
「A Real Japanese Garden」

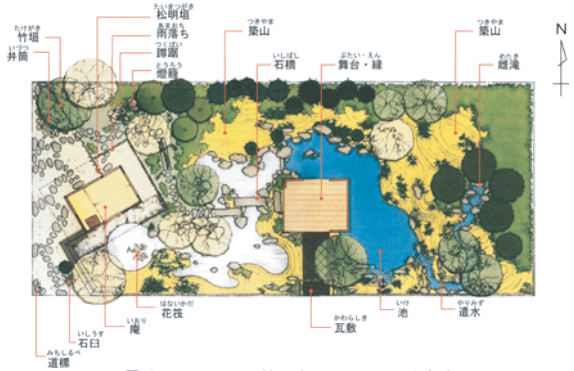
DATE | H13
PLACE | イギリス
CLIENT | デイリーテレグラフ
Japan2001 日本庭園出展委員会
CONTENTS | 設計・施工監理

Chelsea Flower Show 2001
Gold Medal & Best-in-show

平成14年度 日本造園学会特別賞
「世界に向けた日本の庭園技術・芸術の情報発信への貢献」

この庭園の展示目的は、庭園やこれにまつわる日本文化を、イギリスをはじめとするヨーロッパの人々にできるだけわかりやすく紹介し、可能な限り理解してもらうことにありました。一口に日本庭園といってもさまざまな切り口がありますが、“ショー”であり鑑賞が中心であることから、庭園そのものの形態による「様式」及び「変遷」を軸に展開する展示内容とすることが適切と考えました。このため、古代から現代にも見られるさまざまな様式の中で、「池泉式」「枯山水」「露地」の三つの様式とその変遷を紹介することが、わが国の庭園の大要を表現するにふさわしく、かつ理解されやすいのではないかと考えました。
もちろん、池泉廻遊式や平庭、築山という区分・様式もありますが、これは、技法上、上の三つの様式の内に表現し得ることですし、また敷地条件（23m×11mの長方形）からしても、この三つの様式に焦点を当てることが適切だと考えました。そこで「池泉式」から「枯山水」、「枯山水」から「露地」へと時代を追って影響を与えてきた（言い換えれば伝統を受け続いできた）日本庭園の歴史・変遷と、これにまつわる建築、工芸、書道、華道等の文化も合わせて紹介することにしました。

なお本作品は、福原成雄氏（大阪芸術大学）、武田純氏（ウッズプランニング）と吉田昌弘（（株）空間創研）の3者のコラボレーションによって設計及び施工監理が行われました。



© Kukan-Soken Co.,Ltd. 2010